

一般社団法人 黒潮町農業公社

組織形態：市町村農業公社

取組範囲：黒潮町全域

法人設立：平成 25 年 3 月 22 日

所在地：幡多郡黒潮町浮鞭 535-1

資本金等：50 万円（黒潮町基金 50 万円）

役員：理事 4 名、監事 1 名

従業員：正職員 2 名

その他：正職員のうち 1 名は J A からの出向



農業公社事務所

事業内容

- ・農業生産：施設キュウリ 45a、施設レモン 8a
- ・新規就農研修：キュウリ、レモン
- ・農業機械の貸し出し：トラクター、堆肥散布機、管理機

資本装備

- ・施設等：園芸用ハウス 4 棟、環境制御機器、のれん分けハウス、中古ハウス 2 棟
- ・機械等：トラクター 24PS1 台、堆肥散布機 1 台、管理機 1 台、動力噴霧機 3 台
軽箱バン 1 台、軽トラック 1 台

活用した主な補助金等

- ・県事業：こうち農業確立総合支援事業、園芸用ハウス整備事業、複合経営拠点支援事業

設立の経緯

平成 25 年度の調査で、町内の施設園芸農家のうち 70 歳以上の生産者が 24%を占めて、今後 10 年間で離農や高齢化により園芸農家が急速に減少していくことが示された。本町にとって「農業」は地域の経済や社会を支えている基幹産業であり、その振興を図ることは、今後の町発展にかかせない重要な課題であり、施設園芸の維持のためには、新規就農者の確保が喫緊の課題であるが、研修ハウスを建設し研修生を受け入れ、新規就農者の確保・育成を図る機関として農業公社が設立された。

事業戦略

「ハウスの増設」や「レモンの振興」による生産基盤と産地づくり、組織体制の強化、「研修生の確保」による新規就農者の確保対策の充実を目指す。

取り組みの特徴

キュウリとレモンを組み合わせた施設栽培で、農業所得 1 千万円を実現可能な新規就農者の育成を目指している。新規就農者にハウスののれん分けや農機具の貸し出しを行っている。



園芸用ハウス

令和 2 年 3 月現在